



2026年7月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年3月16日

上場会社名 Link-Uグループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4446 URL <https://link-u.group/>
 代表者 (役職名) 代表取締役グループCEO (氏名) 松原 裕樹
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員グループCFO (氏名) 内藤 大貴 TEL 03 (6260) 9279
 半期報告書提出予定日 2026年3月16日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年7月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年8月1日～2026年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に 所属する 中間利益		中間包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期中間期	2,285	△12.9	56	△81.4	51	△82.7	7	△95.7	4	△95.7	△17	—
2025年7月期中間期	2,624	58.7	303	11.8	298	10.8	167	△0.9	95	△39.9	182	△13.4

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2026年7月期中間期	0.29	0.29
2025年7月期中間期	6.74	6.72

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 所属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年7月期中間期	5,469	2,612	2,569	47.0
2025年7月期	5,720	2,629	2,589	45.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年7月期	—	0.00	—	—	—
2026年7月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年7月期の連結業績予想（2025年8月1日～2026年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 所属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,900～ 5,100	1.3～ 5.5	320～ 400	△2.1～ 22.3	300～ 380	△2.9～ 23.0	150～ 200	1.4～ 35.1	10.58～ 14.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日（2026年3月16日）公表しました「2026年7月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社Link-U Products
除外 1社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年7月期中間期	14,174,100株	2025年7月期	14,172,900株
2026年7月期中間期	68株	2025年7月期	68株
2026年7月期中間期	14,173,132株	2025年7月期中間期	14,172,832株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、決算短信（添付資料）3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約中間連結財政状態計算書	4
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	6
(3) 要約中間連結持分変動計算書	8
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

・経営環境と経営方針について

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかに回復したものの、金利・為替の変動や地政学リスクの長期化、物価上昇に伴う消費動向の変化など、先行きが不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループの主たる事業領域である電子書籍市場は中長期的な成長可能性を維持しておりますが、国内マンガサービス市場は競争激化に伴い、足元では厳しい状況が続き、やや下落基調で推移いたしました。こうした状況に対し、当社グループは、経済産業省が掲げる「エンタメ・クリエイティブ産業戦略 ～コンテンツ産業の海外売上収益20兆円に向けた5ヵ年アクションプラン～」にも示されるように、日本のマンガ・IPが持つ海外市場の可能性に着目し、この巨大なグローバル市場の獲得を最重要課題と位置づけ、成長の軸足を海外へシフトさせるべく、事業を推進してまいりました。

当社グループは、「あらゆる価値を解放し、ココロ震える体験を世界に。」というグループパーパスのもと、自社設計のオリジナルサーバーによる圧倒的なコスト競争力と高速なデータ転送速度及び大手出版社との強固なリレーションと長期運用実績を強みとし、多くのコンテンツホルダーのDX推進パートナーとして、事業領域を拡大してまいりました。

これらの強固な基盤を踏まえ、当中間連結会計期間を、グローバル市場での成長と顧客への提供価値の最大化及び生産性向上という目標達成に向けた収益構造の転換点と位置づけております。この転換を推進するため、グローバル展開の本格化、IPの強化、AIの活用推進を主要戦略としてまいりました。

・事業の取組み状況について

マンガサービス事業におきましては、国内市場が成熟傾向にある厳しい環境認識のもと、国内サービスの収益維持を図りつつ、成長の軸足を海外市場にシフトいたしました。特に海外展開においては、世界最大規模のアニメブランドであるCrunchyroll, LLCと業務提携し、海外向けマンガサービス「Crunchyroll Manga」を北米にて提供を開始いたしました。これは、国内サービスで培った基盤を起点に、強固な海外流通網を通じて、IPコンテンツをグローバルに循環させる海外進出の端緒となるものです。これらの施策が奏功し、当事業全体では四半期ベースで過去最高収益を計上する原動力となりました。

制作事業におきましても、顧客のDX需要を捉えた大型開発案件を継続して受注し、四半期ベースで過去最高収益を記録するなど極めて堅調に推移いたしました。今後の収益性と競争優位性を飛躍的に高めるべく、エンジニアの役割を「AIへの的確な指示とマネジメント」へと変革させることで、AI駆動型の開発体制への移行を推進いたしました。また、自社及び外部のIPコンテンツの海外プラットフォームへの提供を拡大し、将来的な海外市場の成長を収益の柱とするべく注力しております。

マーケティング事業におきましては、重要顧客との取引縮小による影響が継続し、業績は低調に推移いたしました。こうした環境変化に対応するため、今後はグループ全体の成長戦略に足並みをそろえたグローバル市場向けの展開へと事業モデルを再構築し本分野における新たな成長機会の創出と収益性の回復を目指してまいります。

・経営成績について

当中間連結会計期間の経営成績は、売上収益2,285,163千円(前年同期比87.1%)、営業利益56,342千円(前年同期比18.6%)、税引前中間利益51,842千円(前年同期比17.3%)、親会社の所有者に帰属する中間利益4,101千円(前年同期比4.3%)となりました。

売上収益や各段階利益が変動した主要因は、前述のマーケティング事業における取引縮小の影響によるものであります。しかしながら、こうした状況下においても、国内市場の変化への対応やグローバル展開といった将来の成長に向けた経営基盤強化のための先行投資を実行してまいりました。当社グループは、当期間を将来の飛躍に向けた戦略的基盤構築期間と位置づけ、中長期的な企業価値向上につなげてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は5,469,241千円となり、前連結会計年度末と比較して251,636千円の減少となりました。

その主な要因は、貸付金の増加130,528千円、その他の流動資産の減少243,927千円及び現金及び現金同等物の減少230,207千円によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は2,856,733千円となり、前連結会計年度末と比較して234,725千円の減少となりました。

その主な要因は、借入金(非流動)の増加345,360千円及び借入金(流動)の減少483,667千円によるものであります。

(資本)

当中間連結会計期間末における資本合計は2,612,508千円となり、前連結会計年度末と比較して16,910千円の減少となりました。

その主な要因は、その他の資本の構成要素の減少24,388千円及び利益剰余金の増加4,101千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)は、前連結会計年度末と比較して230,207千円減少し、1,424,454千円(前連結会計年度末1,654,662千円)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動の結果獲得した資金は196,246千円(前年同期は326,744千円の獲得)となりました。その主な要因は、減価償却費及び償却費の計上140,578千円及び税引前中間利益の計上51,842千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動の結果支出した資金は210,476千円(前年同期は55,941千円の支出)となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出145,361千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動の結果支出した資金は217,372千円(前年同期は387,880千円の獲得)となりました。その主な要因は、長期借入による収入500,000千円及び長期借入金の返済による支出638,307千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年7月期の連結業績予想につきましては、2025年9月12日に公表した連結業績予想の数値を修正しております。なお、詳細につきましては、本日(2026年3月16日)公表しました「2026年7月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当中間連結会計期間 (2026年1月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,654,662	1,424,454
営業債権及びその他の債権	1,128,533	1,155,803
その他の流動資産	478,406	234,479
流動資産合計	3,261,601	2,814,737
非流動資産		
有形固定資産	198,378	304,577
使用権資産	334,477	231,058
のれん	1,107,417	1,107,417
無形資産	255,143	279,392
持分法で会計処理されている投資 貸付金	45,076	83,142
	—	130,528
その他の金融資産	432,144	403,681
繰延税金資産	85,492	112,846
その他の非流動資産	1,146	1,858
非流動資産合計	2,459,276	2,654,504
資産合計	5,720,877	5,469,241

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当中間連結会計期間 (2026年1月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	879,144	890,785
借入金	839,607	355,940
リース負債	145,658	142,016
未払法人所得税	9,939	62,330
その他の流動負債	170,244	109,849
流動負債合計	2,044,593	1,560,921
非流動負債		
借入金	815,204	1,160,564
引当金	54,685	54,723
リース負債	176,975	80,524
非流動負債合計	1,046,865	1,295,811
負債合計	3,091,459	2,856,733
資本		
資本金	477,140	477,225
資本剰余金	207,109	207,194
利益剰余金	1,765,380	1,769,482
自己株式	△135	△135
その他の資本の構成要素	139,785	115,396
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,589,279	2,569,163
非支配持分	40,138	43,344
資本合計	2,629,418	2,612,508
負債及び資本合計	5,720,877	5,469,241

(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書
(要約中間連結損益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
売上収益	2,624,509	2,285,163
売上原価	1,355,753	1,166,505
売上総利益	1,268,755	1,118,657
販売費及び一般管理費	1,022,679	1,080,148
その他の収益	10,873	5,381
その他の費用	2,464	10,008
持分法による投資利益	48,805	22,459
営業利益	303,292	56,342
金融収益	1,512	7,049
金融費用	5,863	11,549
税引前中間利益	298,941	51,842
法人所得税費用	131,184	44,597
中間利益	167,756	7,245
中間利益の帰属		
親会社の所有者	95,543	4,101
非支配持分	72,213	3,143
中間利益	167,756	7,245
1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益(円)	6.74	0.29
希薄化後1株当たり中間利益(円)	6.72	0.29

(要約中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
中間利益	167,756	7,245
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金 融資産	14,468	△24,326
純損益に振り替えられることのない項目合計	14,468	△24,326
その他の包括利益合計	14,468	△24,326
中間包括利益	182,225	△17,080
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	110,050	△20,287
非支配持分	72,174	3,206
中間包括利益	182,225	△17,080

(3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			合計
					その他の 包括利益を 通じて公正 価値で測定 する金融資産	在外営業 活動体の 換算差額	新株予約権	
2024年8月1日残高	477,140	369,042	1,617,394	△135	117,454	7,635	420	125,509
中間利益	—	—	95,543	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	14,507	—	—	14,507
中間包括利益	—	—	95,543	—	14,507	—	—	14,507
新株予約権の発行	—	—	—	—	—	—	189	189
所有者との取引額等合計	—	—	—	—	—	—	189	189
2025年1月31日残高	477,140	369,042	1,712,937	△135	131,961	7,635	609	140,206

	親会社の所有者に帰属する持分		
	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2024年8月1日残高	2,588,951	296,934	2,885,885
中間利益	95,543	72,213	167,756
その他の包括利益	14,507	△38	14,468
中間包括利益	110,050	72,174	182,225
新株予約権の発行	189	—	189
所有者との取引額等合計	189	—	189
2025年1月31日残高	2,699,190	369,109	3,068,300

当中間連結会計期間(自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			合計
					その他の 包括利益を 通じて公正 価値で測定 する金融資産	在外営業 活動体の 換算差額	新株予約権	
2025年8月1日残高	477,140	207,109	1,765,380	△135	131,960	7,635	189	139,785
中間利益	—	—	4,101	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△24,388	—	—	△24,388
中間包括利益	—	—	4,101	—	△24,388	—	—	△24,388
新株の発行	85	85	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	85	85	—	—	—	—	—	—
2026年1月31日残高	477,225	207,194	1,769,482	△135	107,571	7,635	189	115,396

	親会社の所有者に帰属する持分		
	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2025年8月1日残高	2,589,279	40,138	2,629,418
中間利益	4,101	3,143	7,245
その他の包括利益	△24,388	62	△24,326
中間包括利益	△20,287	3,206	△17,080
新株の発行	170	—	170
所有者との取引額等合計	170	—	170
2026年1月31日残高	2,569,163	43,344	2,612,508

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	298,941	51,842
減価償却費及び償却費	126,794	140,578
減損損失	1,832	7,512
持分法による投資損益(△は益)	△48,805	△22,459
金融収益	△227	△3,590
金融費用	5,863	11,549
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△114,311	△27,270
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	123,316	2,472
その他	17,008	17,570
小計	410,412	178,204
利息及び配当金の受取額	227	1,745
利息の支払額	△6,233	△10,023
法人所得税の支払額又は還付額(△は支払)	△77,661	26,319
営業活動によるキャッシュ・フロー	326,744	196,246
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,779	△145,361
有形固定資産の売却による収入	463	2,409
無形資産の取得による支出	△73,460	△60,471
敷金及び保証金の差入による支出	△3,565	△2,053
敷金及び保証金の回収による収入	400	—
投資有価証券の売却による収入	38,000	—
出資金の払込による支出	—	△5,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55,941	△210,476
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入による収入	600,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△130,212	△638,307
株式の発行による収入	—	170
リース負債の返済による支出	△81,907	△79,236
財務活動によるキャッシュ・フロー	387,880	△217,372
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,380	1,395
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	664,064	△230,207
現金及び現金同等物の期首残高	1,907,085	1,654,662
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,571,149	1,424,454

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、インターネットサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。